

交付運用報告書

損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間（2016年11月25日～2017年5月24日）

第113期（決算日 2016年12月26日）	第114期（決算日 2017年1月24日）
第115期（決算日 2017年2月24日）	第116期（決算日 2017年3月24日）
第117期（決算日 2017年4月24日）	第118期（決算日 2017年5月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型）」は、このたび第118期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第118期末（2017年5月24日）	
基準価額	7,438円
純資産総額	397百万円
第113期～第118期 （2016年11月25日～2017年5月24日）	
騰落率※	2.6%
期中分配金合計	150円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

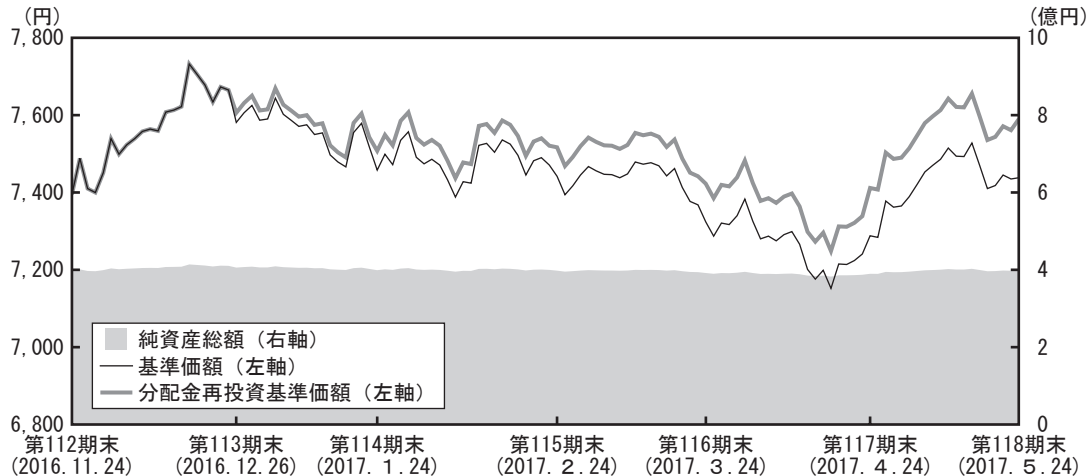
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移



第113期首：7,395円

第118期末：7,438円（期中分配金合計150円）

騰落率：2.6%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年11月24日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア/オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

（損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型））

マザーファンドの騰落率がプラスとなったため、分配金再投資基準価額ベースの騰落率はプラスとなりました。

（損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド）

期中の騰落率は+3.2%となりました。

各国の利回りが低下し債券価格が上昇したことを主因にプラスとなりました。

■ 1万口当たりの費用明細

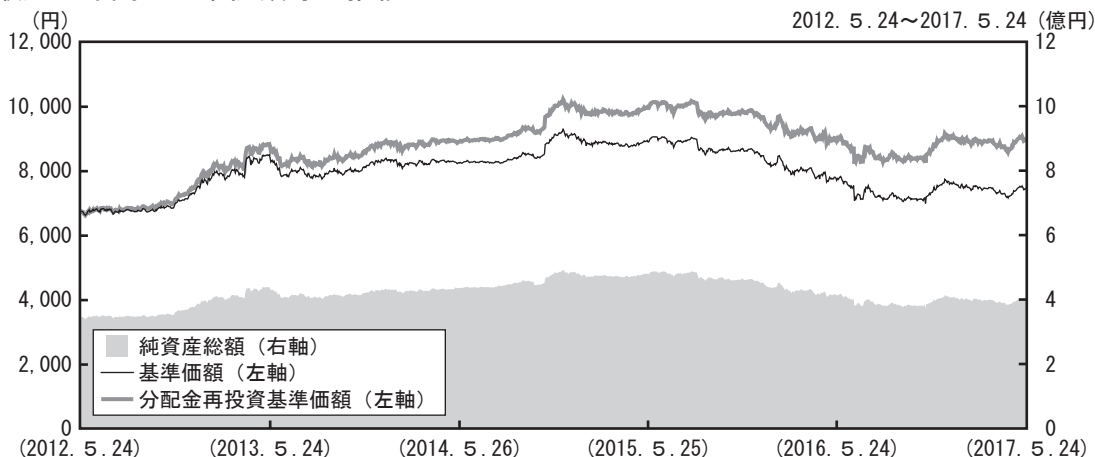
項目	第113期～第118期		項目の概要
	(2016年11月25日～2017年5月24日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	42円	0.561%	(a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,458円です。
（投信会社）	(20)	(0.267)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(20)	(0.267)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.026)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.044	(b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(3)	(0.043)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	45	0.605	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2012年5月24日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2012年5月24日 決算日	2013年5月24日 決算日	2014年5月26日 決算日	2015年5月25日 決算日	2016年5月24日 決算日	2017年5月24日 決算日
基準価額 (円)	6,717	8,393	8,237	8,892	7,700	7,438
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	300	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	30.2	1.8	11.7	△ 10.3	0.6
純資産総額 (百万円)	345	434	435	478	411	397

■投資環境

【債券市場】

○米国債券市場

当期末の利回りは前期末と比べて低下しました。

トランプ政権の政策を巡る不透明感の高まりや、期待インフレ率の低下を受けて、利回りは低下傾向となりました。F R B（米連邦準備理事会）は、景気回復を背景に、金融政策の正常化を進め、12月と3月に利上げを実施しましたが、利回りへの影響は限られました。

○英国債券市場

当期末の利回りは前期末と比べて低下しました。

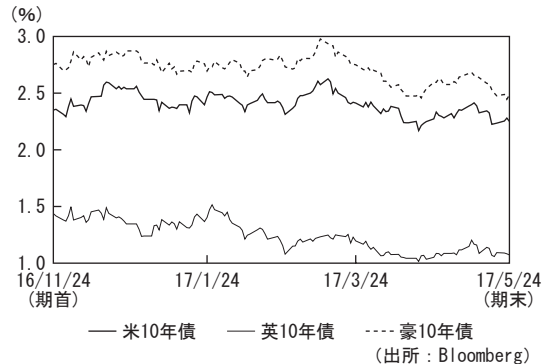
BOE（イングランド銀行）が金融政策を据え置く中、EU離脱を巡る不透明感から景気に減速感がみられたことや、欧米の金利が低下したことから、利回りは低下傾向となりました。

○豪州債券市場

当期末の利回りは前期末と比べて低下しました。

RBA（オーストラリア準備銀行）が金融政策を据え置く中、主要輸出産品である鉄鉱石価格が下落したことや、欧米の金利が低下したことから、利回りは低下傾向となりました。

主要各国利回りの推移



【為替市場】

○ドル円市場

当期末は前期末に比べて円高ドル安となりました。

米国大統領選でトランプ氏が勝利した後、米国金利が大幅に上昇したため、12月までは円安ドル高となりました。しかし、その後は、トランプ政権の政策を巡る不透明感が高まったことや、米国金利の上昇が頭打ちとなったことから、円高ドル安が進みました。

○ポンド円市場

当期末は前期末に比べて円安ポンド高となりました。

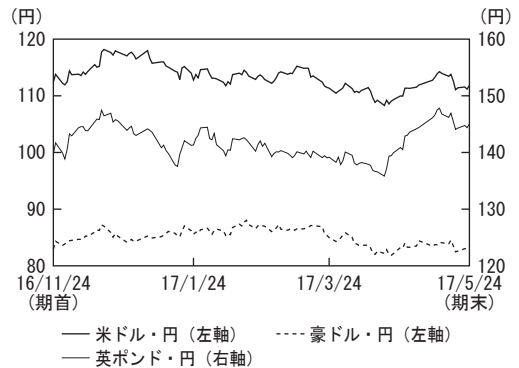
4月中旬までは、円高ドル安が進んだことから、円は対ポンドでも買われる展開となりました。しかし、その後は、メイ首相が6月に解散総選挙を行う意向を表明すると、先行きの政治リスク低下の可能性が好感され、ポンドは買い戻されました。

○豪ドル円市場

当期末は前期末に比べて概ね同水準となりました。

3月中旬までは、主要輸出産品である鉄鉱石価格が堅調に推移したことから、円安豪ドル高基調となりましたが、その後、鉄鉱石価格が下落すると、豪ドルが売られる展開となりました。

為替レートの推移



(出所: Bloomberg)

(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

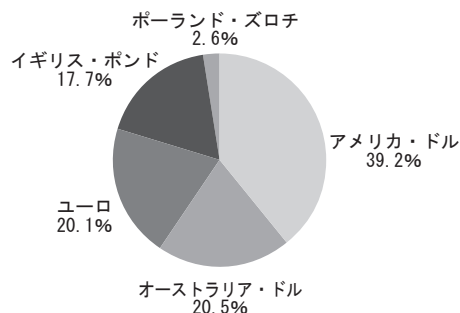
■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドの運用については、損保ジャパン高金利外国債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

（損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド）

債券の組入れにつきましては、米国を中心とした北米を40%程度、英国を中心とした欧州を40%、豪州を中心としたアジア／オセアニアを20%程度として、分散投資を意識したポートフォリオ構成としました。

損保ジャパン高金利外国債券マザーファンドの通貨別構成比



（注1）比率は、第118期末における組入債券評価額に対する割合。

（注2）端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額水準、市場動向等を勘案し、合計で150円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2016年11月25日 ～2016年12月26日	2016年12月27日 ～2017年1月24日	2017年1月25日 ～2017年2月24日	2017年2月25日 ～2017年3月24日	2017年3月25日 ～2017年4月24日	2017年4月25日 ～2017年5月24日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.33%	0.33%	0.33%	0.34%	0.34%	0.33%
当期の収益	25	21	22	21	22	25
当期の収益以外	—	3	2	3	2	—
翌期繰越分配対象額	429	426	424	420	418	421

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

（損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型））

今後も、損保ジャパン高金利外国債券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

（損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド）

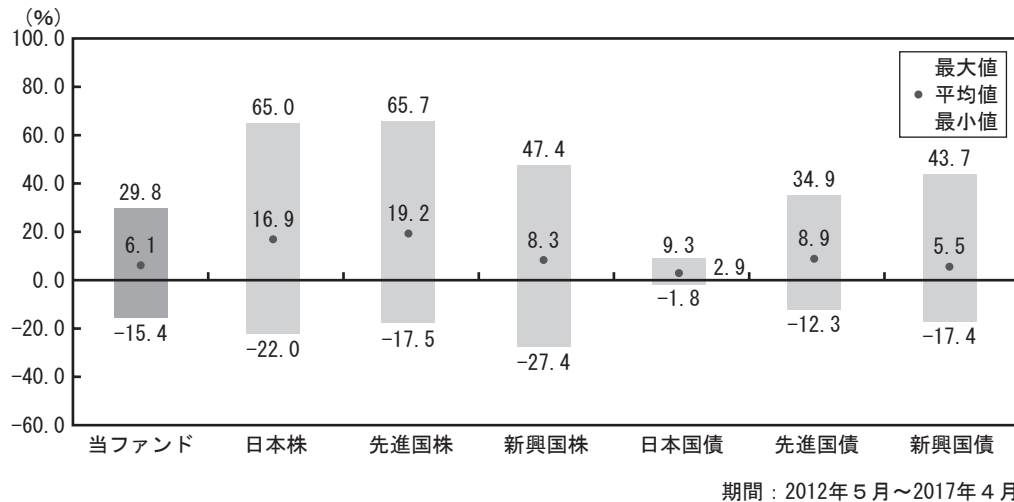
今後も、インカムゲインを重視しつつ、投資妙味が高いと考えられる銘柄の組入れにより、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

国別配分では、相対的に投資魅力が高いと考える、米国や英国、豪州のウェイトを高位に保ち、引き続き分散投資を行う方針です。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型）	「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」受益証券
	損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債
運用方法	<p>①主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資します。</p> <p>②投資対象国は、原則としてA格相当以上の長期債格付が付与された国とし、シティ世界国債インデックス採用国を中心とします。</p> <p>③各国の投資比率については、各国の政治・経済動向の変化や市況動向に基づく相対的魅力度、流動性、市場規模等を勘案しつつ、前記の各地域の中で相対的に金利が高い国への比重を高め、ポートフォリオを構築します。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤毎月決算を行い、組入れ債券の利息等収益を中心に、安定的な分配を行います。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みません）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。原則として、利子、配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

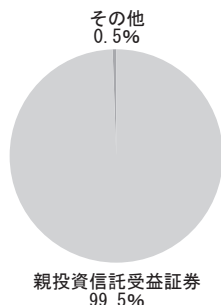
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

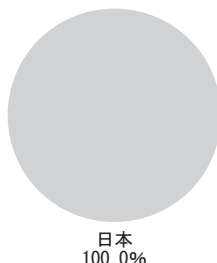
	第118期末
	2017年5月24日
損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	99.5%

（注）比率は第118期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第118期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末
	2016年12月26日	2017年1月24日	2017年2月24日	2017年3月24日	2017年4月24日	2017年5月24日
純資産総額	405,792,711円	399,094,746円	397,839,050円	391,771,845円	389,730,424円	397,852,081円
受益権総口数	535,293,247口	535,139,327口	534,599,399口	534,913,924口	534,774,255口	534,861,977口
1万円当たり基準価額	7,581円	7,458円	7,442円	7,324円	7,288円	7,438円

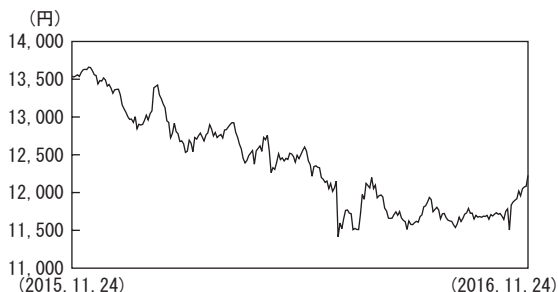
※当作成期間（第113期～第118期）中における追加設定元本額は1,746,997円、同解約元本額は2,578,577円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド>

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

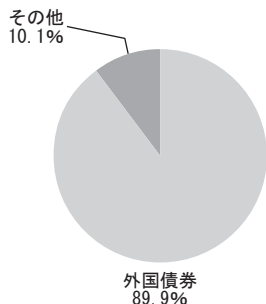
(2015年11月25日～2016年11月24日)

項目	
その他費用 (保管費用)	12円 (12)
(その他)	(0)
合計	12

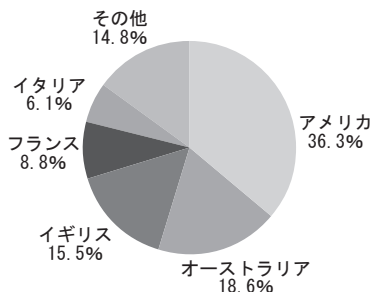
○組入上位10銘柄

	銘柄名	債券種類	通貨	償還日	比率
1	US TSY BOND 23/08/15	国債証券	アメリカ・ドル	2023/8/15	14.9%
2	US TREASURY N/B 8.125% 08/15/19	国債証券	アメリカ・ドル	2019/8/15	9.7%
3	AUSTRALIAN GOVT. 5.75 2021/05/15	国債証券	オーストラリア・ドル	2021/5/15	9.6%
4	AUSTRALIAN GOVT. 5.75% 2022/07/15	国債証券	オーストラリア・ドル	2022/7/15	9.0%
5	TREASURY 8.0 2021/06/07	国債証券	イギリス・ポンド	2021/6/7	6.5%
6	FRANCE O. A. T. 6.0 2025/10/25	国債証券	ユーロ	2025/10/25	6.3%
7	UK TREASURY 6.0 2028/12/07	国債証券	イギリス・ポンド	2028/12/7	5.9%
8	US TREASURY N/B 7.875 2021/02/15	国債証券	アメリカ・ドル	2021/2/15	3.8%
9	US TREASURY N/B 8.75 2020/08/15	国債証券	アメリカ・ドル	2020/8/15	3.6%
10	BTPS 4.5 2020/02/01	国債証券	ユーロ	2020/2/1	3.2%
組入銘柄数				18銘柄	

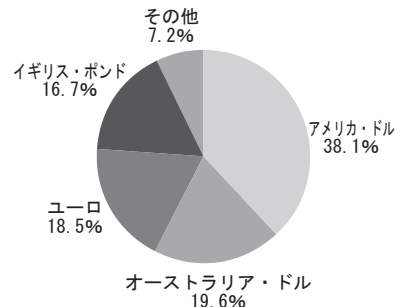
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年11月24日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan Global EM グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント